

＜本郷キャンパス＞学校法人文京学園
文京学院大学経営学部・外国語学部・保健
医療技術学部・大学院・短期大学英語カ
リア科／文京学院大学・短期大学生涯学習
センター
〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1
☎大・短 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

＜ふじみ野キャンパス＞文京学院大学人間
学部・保健医療技術学部・大学院／文京学
院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
＜駒込キャンパス＞文京学院大学女子高等
学校／文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
☎ 03-3946-5301



平成 25 年(2013 年)
11 月 30 日
第 691 号
発行
学校法人文京学園
http://bgu.ac.jp

文京学院は、平成 26 年に創立 90 周年を迎えます。

高校バレーボール部 3 選手 国体優勝

成澤文京区長より表彰状授与

高校バレーボール部の 3 選手が東京都代表として「第 68 回国民体育大会」バレーボール少年女子（9 月 28 日～10 月 2 日・町田市立総合体育館）に出場し、東京都は 11 年ぶり 5 度目の優勝を勝ち取りました。

それにより、優勝に大きな貢献をした柳田光綺さん（3 樟／サイドアタッカー）、小林桃子さん（3 杉／リベロ）、田原愛里さん（2 楓／セッター）が 11 月 21 日、文京区長応接室において成澤廣修（なりさわひろのぶ）区長より表彰されました。文京区からは成澤区長はじめ瀧康弘副区長、小野澤勝美アカデミー推進部長、古矢昭夫スポーツ振興課長が、本校からは 3 選手はじめ島田昌和副理事長（中高等学校顧問）、清水直樹教頭、吉田岳史バレーボール部監督（国体コーチ）が出席。



前列左から柳田さん、成澤区長、小林さん、田原さん、後列左から清水教頭、吉田監督、島田副理事長

成澤区長は「今年は、区内の学校が高校総体などで多種目にわたって全国制覇を成し遂げ、活躍しています。2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催も決まり、スポーツに関する関心も高まっています。今後も切磋琢磨して頑張ってください」と 3 選手にエールを送りました。成澤区長から個々に表彰状を授与された選手たちは、「学校単位のチームではなく選抜チームだったので、連携など困難なこともありました。この賞に恥じぬように今後も頑張りたいです。ありがとうございました」と緊張気味に挨拶。成澤区長のお心遣いにより、会話は終始和やかなものになりました。



これぞ国家資格を持つプロの技

島田輝子学園長も会場に駆けつけ、卒業生たちにエールを送りました。

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

12 時間でコンディショニングを行った人数は 188 名、テーピング、アイシングのみ行った人数は 26 名、延べ人数 214 名でした。利用者からは、「あなたたちのおかげで、この日のために有休をとって馳せ参じた卒業生も、今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、



本学学生の流暢な英語でのプレゼン（於：神戸市外国語大学／写真撮影＝神戸新聞）

外国語学部の杉浦湧樹さん、本学から出場したのは、外国語学部の杉浦湧樹さん、

同コンテストは、全国の大学生 34 人 1 チームで、シンブルなマーケティングプランを作成し、審査員及び観衆の前で約 13 分間、英語によるプレゼンテーションを行う大会で、今年 3 回目を迎えます。

西村信勝外国語学部教授の呼びかけに応じて 4 名の学生が「全国大学生マーケティングコンテスト（MCJ）」（主催＝神戸市外国語大学内同コンテスト運営委員会）に参加し、実力を発揮。11 月 9 日、神戸で開かれた決勝大会に出場しました。これは、昨年に引き続き 2 度目の快挙です。

外国語学部学生が 2 度目の決勝大会へ！

全国大学生マーケティングコンテスト

は自身が得たお給料で購入してもらうというプレゼンをする。

決勝大会進出が決定したのは 10 月 16 日のため、本番まで 1 カ月を切る状態。英語の特訓は、サンドラ准教授の指導が主に行

業で出場学生に発表のチャンスを提供。サンドラ准教授は「これが外国語学部のチームワーク」と誇らし

ました。クリスティン・ホーン先生、ロジャー・マ

コミック先生も英語の授

「第 5 回『文の京』12 時間リレー・3 時間マラソン」

（主催＝NPO 法人小石川、後援＝文京区）が 10 月 19 日、文京区スポーツセンターで開催されました。今年 12 時間リレーに 82 組 753 人、3 時間マラソンに 67 人

（男性 50 人、女性 17 人、トータルで 820 人が参加し、今では文京区の一大会となつています。

本学は大学祭と日程が重複したためマラソンには出場できませんでしたが、

テーピングやアイシング、



前列左からサンドラ准教授、西村教授、後列左から岩切さん、鈴木さん、朝倉さん、杉浦さん

逃しましたが、予選を経て「2 年連続の決勝大会出場」という偉業を達成！西村教授は「4 人の審査員のうち 2 人が本学に 2 位と 3 位を入れて下さったことが後でわかりました。来年はリベンジだ！」。出場学生 4 人は、他の大学による 7 通りのプレゼンを聴くことで大きな刺激を受け、英語力に益々磨きをかけています。4 人によると「他の大学は応援団あり」。

来年は、「文京学院応援団」を結成して、いざ神戸へ！

川合健太さん・杉浦恵美さん、3 期生の森安成美さん、4 期生の稲葉篤さん・堀内香那さん・宮本綾香さん、本間美妃さん・塚越航さん、水越綾香さんが、実社会で鍛えた実力を発揮。

福井教授はじめ具志堅敏・中俣修各准教授、正保哲・上田泰久各助教、大川孝浩・加藤太郎・千代丸正志・渡部直子各助手らが卒業生を温かく見守り、時間帯によってランナーのケアに努めました。

12 時間でコンディショニングを行った人数は 188 名、テーピング、アイシングのみ行った人数は 26 名、延べ人数 214 名でした。利用者からは、「あなたたちのおかげで、この日のために有休をとって馳せ参じた卒業生も、今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

12 時間でコンディショニングを行った人数は 188 名、テーピング、アイシングのみ行った人数は 26 名、延べ人数 214 名でした。利用者からは、「あなたたちのおかげで、この日のために有休をとって馳せ参じた卒業生も、今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

今年 1 期生の廣瀬悟侍さん・豊田裕司さん・竹澤美穂さん・西田直弥さん・廣江圭史さん、石田智子さん、2 期生の西見葉さん、

Green Spirits



リングといった「こころ」へのアプローチについて、多面的に考えることが、個人の思考力、ひいては思慮の深さへと発展していきます。

どんな資格やスキルがあっても、人と人の関係性が築けることは、心理学の専任教員が提供する心理学領域。こうした豊かな環境の中で、本学の学生は入学時とは見違えるような姿勢で知識やスキルを吸収していきます。真に充実した 4 年間を過ごした学生の卒業時の姿は、複数の大学で教鞭をとってきた私でも目を見張るものがあります。

本学心理学科には、人とのコミュニケーションの中で、むしろ不器用な振る舞いを見せる学生が多いような気がしています。「こころ」ってなんだろう。人の気持ちってなんだろう。こんなに難しいんだろ。多くの学生が大学に求める国家資格の取得などとは縁遠いところ

「こころ」と向き合う 小林剛史 心理学科長／教授

そんな、いわば「不器用」な学生が、「こころ」と向き合い、多様な切り口から「こころ」に肉薄し、時に苦悩し、しかし愚直に歩み続け、素晴らしい「こころ」を手に入れた、卒業するのを何度も見送りました。

本学心理学科は、これからは変わらぬ、そのような学生に出会い、歩んでいくために、今後も熱い「こころ」を持って教育・研究に向き合っていきます。

人間性の研鑽には、この多様なアプローチをいかに「広く、深く」学ぶかが重要であると考えています。「狭く、深く」が学問の掘り下げ方と思われがちですが、学問への入り方は、まずは「広く」が大切です。人間の生涯発達や、心臓の鼓動や血の流れ、呼吸や汗の変化、欺瞞、ジェンダー役割、精神医学的見地、デザインや環境、心理テスト、心理カウンセ

大学 ふじみ野キャンパス「日本舞踊研究会」

ボランティアの舞で自己成長

ふじみ野キャンパスの「日本舞踊研究会」メンバーが、顧問の金子智栄子人間学部教授による指導を受け、メキメキと上達。大学を離れ、年3回の施設訪問も楽しく行い、地域の高齢者に喜ばれています。

地域の高齢者施設にボランティアとして積極的に出掛け、日舞の日頃の練習成果を披露するだけではなく、話し相手としても活躍しているのは「日本舞踊研究会」の次の面々。部長「榎木千夏さん（人間福祉学科4年）、吉永彩夏さん（同1年）、鴻巣明日香さん（臨床検査学科1年）、井澤佑季子さん（心理学科1年）。

訪問について榎木部長は、「普段はあやめ祭での舞台発表だけでなく、高齢者施設に行くことで程よい緊張感があり、間延びしないで練習に励める」と前向き。

山田前部長が日舞を始めたきっかけは「着物への興味」。それゆえに華道部にも所属している着物男子。最初の舞台では膝が震えるほど緊張しましたが、数多く人前に立つことで度胸がついたとのこと。山田前部長に続く男子がいなかったため、男舞の後継者として白羽の矢が立ったのは唯一、保健医療技術学部所属する鴻巣さん。袴姿で山田前部長から「黒田節」の特訓を受けています。小菅副部長は「日舞は全く苦しい短期大学／帝京大学短期大学、東京経済大学、東京工科大学、東洋大学、武蔵大学、明治学院大学。



鴻巣さんに『黒田節』を伝授する山田前部長（左）

高校21大学が本校で説明会実施

進路指導部（佐藤泰正部長）主催による高校3年生対象の「直前進路説明会」が、11月6日と13日の2日間、わたり本校で実施され、次の21大学（短大含む）が来校しました。

【11月6日】亜細亜大学／亜細亜大学短期大学部、北里大学、工学院大学、駒澤大学、成蹊大学、聖徳大学／聖徳大学短期大学部、玉川大学、東邦大学、日本女子大学。



成蹊大学担当者の説明に聴き入る生徒たち

参加者は、6日（2回）41名、13日（2回）405名の延べ816名。参加生徒からは「興味ある大学の話を聞くことができて、自分の進路を決める上で大変参考になりました」という感想が聞かれました。



杉原研究家の白石氏が熱く語る。生い立ちから、命のビザの発給、そして戦後の不遇の時代までを歴史的な証言や作品で、来場者の心を強く打ちました。白石氏は外務省大臣官房外交資料館課長補佐、日本ラビア音楽協会会員などを歴任。杉原氏の妻・幸子夫人の著書『六

大学「新・文明の旅」プログラム実行委員会

『杉原千畝の決断』上映と講演会実施

文京学院では、創立100周年を迎える2024年までの3年に一度、本学の学生をヨーロッパの国々の大学へ派遣して文化交流を図る本学独自の「新・文明の旅」プログラムを実施しています。

第2回の訪問予定国のひとつ、リトアニア共和国へが主催する二大舞踊大会の一つで、昭和40年より男性舞踊家の参加を得て「推薦花形舞踊会」として発足。後に名称を「推薦名流」と改めた歴史ある格調高い舞踊会です。

金子教授は「踊る姿を喜んでいただくことが踊る喜びに繋がり、それが学生たちの存在感を高めて、自己成長に繋がります」と笑顔。5歳から日舞を始めた金子教授は、大学生で名取となり、学術博士・臨床心理士として学生指導に当たる現在も、「花柳寿院」として活躍中。9月23日には、国立劇場（大劇場）で行われた「第49回推薦名流舞踊大会」で華麗な舞を披露。今年で17回目の舞台を務めました。同大会は、東京新聞



前列左から榎木部長、金子教授、小菅副部長、後列左から山田前部長、岸前副部長、鴻巣さん、井澤さん、吉永さん

の日本舞踊家の発表の場である「たつな会」にも多数出演。本来、若手は出演できない舞台ですが、金子教授から日舞のみなさんへ指導も受けました。金子教授は、由緒ある舞台で舞う貴重な体験をしました。

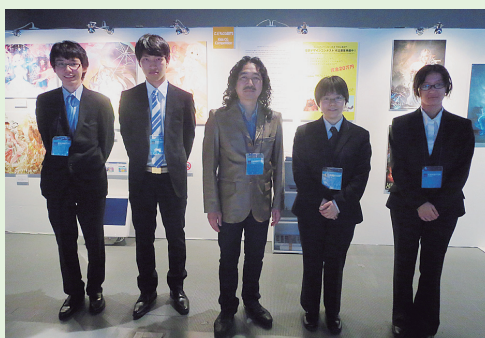
大学 本学学生が運営担当

アジアグラフィックアートギャラリー大盛況

「ASIAGRAPH 2013」は、表展示の場として、現在は、アジアのCG作家の登竜門「Tokyo」が10月24日〜26日まで日本科学未来館で開かれ、経営学部コンテツ・マーケティング専攻の学生たちが参加。近藤映良・同アートギャラリー学生運営委員会委員長（経営学部2年）を中心に、学生たちが品に見入りました。

同ギャラリーは、本学の喜多見康コンテンツ多言語語知財化センター長・経営学部教授が統括。優秀なCG作家による優れた作品の発にしています。その集大成として2011年、『謀報の天才杉原千畝』（新潮社刊）を出版。杉原氏について熱く語る白石氏の話に、来場者は熱心に耳を傾けました。

近藤委員長は「第1回会はない中、CGアートギャラリー」を担当したメンバー（左が近藤委員長、中央が喜多見教授）



アートギャラリーを担当したメンバー（左が近藤委員長、中央が喜多見教授）



子どもCG教室にも沢山の来場者が

短大 学生英語スピーチコンテスト

7短大が本学で熱戦を展開

「第39回学生英語スピーチコンテスト」（主催＝一般社団法人東京都私立短期大学協会／同コンテスト専門委員会）が11月16日、本学スカイホールで開催されました。同コンテストは、都内の短期大学生を対象とした歴史ある大会で、今年は



和気あいあいと集合写真（前列左から5人目が森田さん）

本学ほか昭和女子大学短期大学部、立教女学院短期大学、青山学院女子短期大学、共立女子短期大学、実践女子短期大学、東京立正短期大学が出場。

Christopher A. Pitts 委員（共立女子短期大学准教授）の司会により、まずは若林一美委員長（立教女学院短期大学学長）が開会挨拶。続いて、前年度優勝校の青山学院女子短期大学より優勝杯が返還されました。George Wallace 大東文化大学准教授、Kathryn Zidonis 平成国際大学准教授、田中真紀子神田外語大学教授ら審査員と、本学の島田燦子学園長紹介の後に、日本英語検定協会の佐藤祐太氏が英検創設50周年に関するゲストスピーチを流暢な英語で行い、出場者にエールを送りました。いよいよ出場者が登壇すると、会場には一気に熱気が立ち込めて、パワフルなスピーチが展開されました。本学からは、2年生の森田弥紗さんが出場。「THE HELL OF JOB HUNTING」をタイトルに、画一化された就職活動について疑問を呈するスピーチを行い、学生たちの共感を呼びました。

熱戦の末、今年の優勝は立教女学院短期大学、準優勝は青山学院女子短期大学が射止めました。森田さんは「学内のスピーチコンテストを経て今回出場しましたが、とても緊張しました。賞には至りませんでした。話しかけたJOB HUNTINGについてスピーチできましたし、他短大生のスピーチを聞くことができてとても勉強になりました」とやり切った表情。

本学短期大学は平成26年度より4年制大学に一体化するため、惜しくも今回が最後の出場。島田学園長の深い思いにより本学で開催し、盛大なコンテストとなりました。

来場者にさりげなく目配りをする近藤委員長の姿には、委員長としての自覚と誇りが滲み出ていました。